

平和が丘防災タイムズ 第37号

平和が丘学区防災委員会

早いものでもう師走ですね。何かと慌ただしくなってきましたが、こんな時期こそ心にゆとりを持ち、防災対策も万全に、新年を迎えましょう。さて、防災タイムズ第37号では、9月に行われました防災あんしん調査結果について、ご紹介させていただきます。

○第15回 防災あんしん調査票 集約結果

10月に第15回防災あんしん調査票の集約を完了しました。ご協力いただきました自治会や住民の方に御礼申し上げます。

今回の調査票の回収率は82.2%と、過去最高の86.7%(H26)に比べ4.5ポイントも低下しました。調査票の目的は災害発生時にいち早くご近所の安否を確認し、より迅速な救命救護への活用や、救援物資・救援金の適切な配分などに使用するものですので、できる限り多くの回収が望まれます。

なお、防災あんしん調査票は平和が丘学区独自の取り組みですが、H23年の東日本大震災以降、行政や他の学区等からも特に注目されています。

(1) 回収結果

	配布 世帯数※1	報告 世帯数	調査票 回収率	総人数※1 (報告人数合計)	一世帯あたり 平均人数	75歳以上 世帯数	要援護者 人数※2
H29年度	1,911世帯	1,608世帯	84.1%	4,150人	2.58人	461世帯(28.7%)	134人(8.3%)
H30年度	1,962世帯	1,613世帯	82.2%	4,155人	2.58人	497世帯(30.8%)	140人(8.7%)

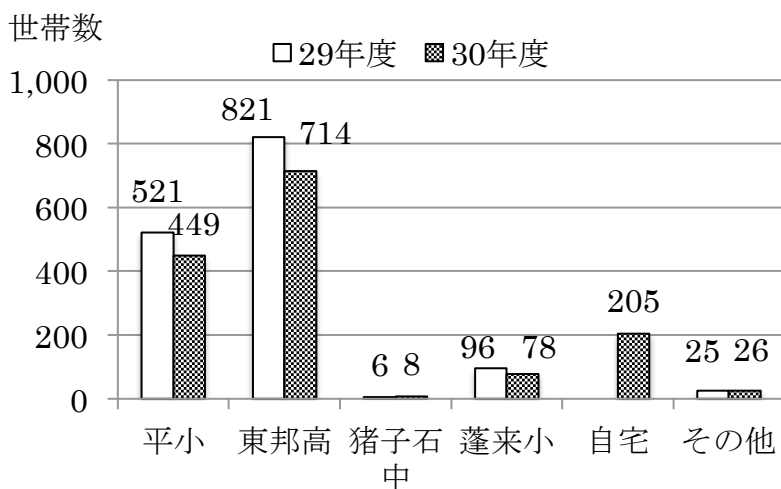
※1：調査票の配布ができない管理マンション等があるため、配布世帯数および総人数等は学区全体の
 正值より少なくなっています。 (※2：要援護者人数/報告世帯数)

75歳以上の高齢者がおられる世帯は学区全体で30.8%と、H29年度28.7%に対し2.1ポイント増加しており、高齢化が益々進展していることが伺われます。(H28年度26.8%)

自治会ごとでは、最高で57.7%を占める自治会もありました。(最小16.0%)

また、140の方が災害時に何らかの援護(介助)が必要であり、自主防災会やご近所同士での助け合いが重要になります。日頃から顔の見えるお付き合いをお願いします。

(2) 避難所への避難世帯数



○7割以上の方が、平和が丘小学校または東邦高校を避難先とされています。

○今年度から「自宅避難」を追加したことで、205世帯(12.7%)の方が選択されました。災害後も自宅で居住が継続できる状況であれば、自宅での避難をお願いします。

○また、報告のあった世帯のうち約1割(189世帯)の方が、避難先を未回答とされており、今後も

避難先のさらなる周知啓蒙が必要と思われます。

○なお、蓬来小学校は、平和が丘学区の防災委員等係員は出向きませんので、ご注意下さい。(※コミセンは要援護者用の避難所として活用することになっています。)

○大規模災害時における学区内の支援協力締結事業所

学区内では、平和が丘小学校・猪子石中学校・東邦高等学校・平和が丘コミセンが指定避難所となっていますが、地震や台風などの大規模な災害時に事業所が所有している様々な資機材や敷地、人的協力をいただくため、以下の事業所と支援協力についての覚書を締結しています。

- (1) 学校法人 東邦高等学校 様
地域の自主防災組織活動への協力および救出救護資機材の貸出、負傷者・避難者等への一時的な支援協力。
- (2) 宗教法人 正敬寺 様
一時的な避難場所（駐車場部分）の提供。
- (3) なごや福祉協会 デイサービスセンター平和が丘 様
一時的な避難場所の提供、車いす等介護機器の貸出、介護職員の派遣などの支援協力。
- (4) 株式会社フィールコーポレーション 様(クオリテ平和公園店)
一時的な避難場所、災害情報の提供、トイレの開放(施設が使用可能な場合のみ)その他可能な範囲における支援協力(※H30. 12. 7に締結しました。)

○少年補導委員会の役割と活動

少年補導委員会は、警察の行う少年補導に協力し、もって少年の非行防止に寄与することを目的とし、名東警察署長から少年補導委員として委嘱を受けた者で組織しています。名東区各学区に配属され、平和が丘学区には加藤 実と吉田 欣一の2名が担当しています。

活動は、青少年を守る運動・挨拶運動・喫煙防止・児童虐待防止・非行防止等の各キャンペーンの協力、立ち直り支援活動への協力をしています。また、各学区内においては、春まつり・夏まつり・秋まつりや、スポーツフェスタ・成人式等各行事の裏方として、「安心・安全で快適なまち」をモットーに、「おせっかいで、ロウるさいおっさん」を目指し活動しています。

今後も、皆さまのご指導ご協力をよろしくお願いいたします。

少年補導委員会 吉田 欣一

□防災お役立ち情報（災害時無料Wi-Fiと注意事項）



災害時無料Wi-Fiとは、地震や洪水などの大規模災害が起こったとき、携帯電話回線に頼らず安否確認や情報収集ができるよう、被災地域の人々のために無料開放される公衆無線LANサービス(公衆Wi-Fi)です。どの通信会社の端末でも、またパソコン等でもWi-Fi接続できる機種なら無料で利用可能です。使い方は、端末のWi-Fi機能をONにして、ネットワーク選択の画面で

「00000JAPAN」のネットワーク名(SSID)を選択するだけです。

(ただし、災害時にのみ順次開設されます。)

しかし、通信が暗号化されないため、なりすましも可能になり、通信内容が第三者に盗聴される可能性があるため、内閣府では「緊急時のやむを得ない安否確認や情報収集のみに利用してほしい」と注意を呼び掛けています。使用時は、IDやパスワード、個人情報を入力、お金が関係するサービスの利用は極力避けて下さい。

<編集後記> 今年は、いたるところで台風や地震に見舞われ、その傷跡は未だに残っています。幸いにも、私たちの住む名古屋市では大きな災害は発生していませんが、最も危惧されている南海トラフ巨大地震はいつ襲ってくるかも知れません。災害は発生しないに越したことはありませんが、もしものために、家屋の耐震対策を行うとともに非常食や水の確保、非常用持出用品の備えが大切です。なお、家屋に被害が無く、自宅での生活が可能な場合は、避難所に向かわず「自宅避難(在宅避難)」するようお願いします。(編集 前島)



平和が丘だより

検索